

	<p>号外</p> <p>昭和34年4月1日</p> <p>第3種郵便物認可</p>	<p>定価1部2円</p> <p>発行所</p> <p>盛岡市内丸10番1号</p> <p>岩手県庁内</p> <p>岩手県職員労働組合</p>	<p>No.2521</p> <p>2019年</p> <p>9月3日</p>	<p>会計年度任用職員制度も交渉ヤマ場に。交渉課題を確認し、職場実態を踏まえた任用を実現させよう。</p>

会計年度任用職員課題

ヤマ場交渉は9月10日

8月26日当局通知で示された賃金・任用課題も追及

2020年4月に創設される会計年度任用職員制度の導入を巡り、当局は8月26日に非常勤職員に係る任用協議に関して、各部局に取扱通知を発出した。

賃金水準を巡っては、行政職1級25号(182,300円)の水準を超えて任用する場合(フルタイム勤務の場合。パートタイムは勤務時間に応じて調整した額)には人事課協議とすること、非常勤職員の職種に応じて人事課が設定した報酬上限額の目安案が示され、各部局で確認のうえ、人事課協議するとされた。さらに、勤務時間の上限は原則週30時間とすることも盛り込まれた。さらに、新規の任用を厳格化する方針も示されている。一方、臨時職員に係る詳細な取り扱いは、未だ公にされていない。

通知が発出されたことにより、具体的な処遇や任用の在り方を巡り、検討がヤマ場を迎える。通知自体も課題が山積しており、県職労は9月10日に人事課長交渉を設定した。交渉課題を共有し、処遇改善と職場実態を踏まえた任用を強く求めよう。

これまでの交渉状況と今後の交渉のポイントについては以下のとおり。

項目	交渉状況 (人事当局回答)	今後のポイント
賃金水準	<ul style="list-style-type: none"> 月額賃金：行政職1級1号(145,400円)初号。事務補助(臨時職員)上限：1級25号(182,300円)。専門職(非常勤職員)上限：1級93号(249,800円)の範囲で個々に設定。 資格・経験年数に応じて調整(前歴換算) 期末手当：6月・12月期に支給(1回1.3月。年2.6月。6月以上任用の場合) 通勤手当：一般職と同様。 退職手当：フルタイムに支給(一定の要件あり) 	<ul style="list-style-type: none"> <u>非常勤職員</u>：専門性に応じた賃金水準引き上げが必要。 <u>臨時職員</u>：初号水準が低い。<u>到達給の引上げが必要</u>(1級25号を上限とした場合、高卒採用時に経験年数が7年程度で頭打ち)。 <u>パートタイムへの移行で月例賃金引下げ</u>となることも課題
休暇制度	<ul style="list-style-type: none"> 年次休暇：制度創設時に10日間付与(週5日勤務の場合)。 病気休暇：無給、特別休暇：一部有給(看護休暇、短期介護休暇、夏季休暇等)あり。 	<p>職員との均等待遇との観点から課題。<u>病休等の有給化に向けて取り組みを継続</u>。<u>年次休暇の付与を巡っての運用改善も求める</u>。</p>
勤務時間・配置数	<ul style="list-style-type: none"> パートタイムを基本(月30時間を原則)。(育休代替など、業務の性質や業務内容等を踏まえ、必要な場合に限り、フルタイム) 	<p><u>職場実態を踏まえた任用形態と配置数確保を強く求める</u>。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・配置数は、事務補助職員数：秋の募集前に決定 個別事業ごとに任用する職員数：予算編成過程で決定 ・増員を含めてトータルのマンパワーが確保できるよう検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置数の決定時期が不明確。業種により募集時期に相違。当事者は不安も。<u>募集時期の早期提示・実施を要求。</u>
採用方法・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・採用は公募。面接・書類選考等の選考採用も含めて検討中。 ・再度任用は原則2回。再度任用後に公募も、同一の者の任用の可能性あり。 ・再度更新：人事評価制度により判断。業務経験も一定程度考慮して評価。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接等の方法による<u>業務経験を踏まえた採用を要求。</u> ・人事評価は、<u>業務経験を的確に評価のうえ、更新できる制度を要求。</u>

県議選 推薦候補は職員全体の改善を求めています 盛岡「小西和子」働く者の処遇改善訴える

県議会議員選挙も中盤から終盤に。県職労推薦候補者は、各選挙区で遊説し、働く方の処遇改善を訴えています。

盛岡では、9月2日総決起集会が開催され、『小西和子』さんが子育て支援の充実と子どもの貧困の解消、働く環境の改善（非正規職員の処遇改善、長時間労働の是正など）、教育の充実、平和憲法を活かした政策の実現を訴えました。総決起集会には、社民党・参議院議員『吉田ただとも』さんが駆けつけ、小西和子さんの必勝を訴えました。



小西和子さん



吉田ただとも（左）さんと必勝誓う

県職労推薦候補者は、盛岡・花巻・北上・奥州・一関選挙区で働く者の処遇改善をはじめとした政策を訴えています。 当選圏内に押し上げるために、組合員はもとより、友人・知人への支持拡大を広げましょう。

臨時・非常勤職員を含めた職員全体の改善を政策として掲げている推薦候補者の必勝が私たちの職場環境を改善するきっかけとなります。最後まで支援をお願いします。



支持者に握手・佐々木ゆみこさん

＝県職労推薦候補者＝
 盛岡：小西和子
 花巻：木村幸弘
 奥州：佐々木ゆみこ
 北上：佐藤ケイ子
 一関：千葉進